



J.Y.P.S.  
Japan Youth Platform for Sustainability

# 2024年度 活動報告書

---

持続可能な社会に向けた  
ジャパンユースプラットフォーム

Japan Youth Platform for  
Sustainability (JYPS)

[WWW.JYPS.WEBSITE/](http://WWW.JYPS.WEBSITE/)



## はじめに

持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS）は、社会のすべての構成員が、公平に自らの意見を政策に反映させることを通じて、衡平で公正な社会が実現された世界を目指しています。そのなかでユースの意見を集約・調整する自治民主的な仕組みの設立、管理、そして改善をすることを通じて、ユースが政府や国際的な枠組みに対しその意見を反映させることを可能にすることをミッションとして活動しています。

当報告書は、JYPS事務局の2024年度の活動の記録になります。JYPS事務局の一連の活動にご協力いただいた皆様、多大なる支援をしてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

はじめに.....	1
ご挨拶.....	3
森井悠里香（2024年度共同事務局長・退任）.....	3
本行紅美子（2024年度共同事務局長・退任）.....	3
山口凜（2025年度 新事務局長）.....	4
<b>JYPSについて.....</b>	<b>5</b>
活動内容.....	5
2024年度事務局員 .....	6
<b>2025年の主要活動.....</b>	<b>7</b>
JYPS事務局主催（共催）イベント.....	8
「新時代のパイオニア」プロジェクト.....	9
CECG「経済課題アドボカシー」プロジェクト.....	10
国際会議への参加.....	11
参加ネットワーク一覧と担当者.....	12
<b>収支報告.....</b>	<b>13</b>

## ご挨拶

### 森井悠里香（2024年度共同事務局長・退任）



2025年3月末をもって、3年間在籍していたJYPS事務局を退局いたしました、共同事務局長の森井悠里香です。

JYPS事務局員として、地球規模課題の解決にどのように貢献すべきか仲間と共に、また他セクターとも連携しながら、向き合い続けた3年間の活動となりました。複雑な諸課題に向き合うにあたって、自身の無力感や行き詰まりを感じることもありましたが、それ以上にユース参画の可能性や包括的な連携・連帯の可能性を感じた3年間でもありました。退局後も個人として貢献すべく、邁進してまいります。

必要とされる活動や向き合うべき課題は日々変化をしています。意味あるユース参画を通じた持続可能な社会の実現に向けて、引き続きJYPS事務局は歩みを進めてまいります。引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

### 本行紅美子（2024年度共同事務局長・退任）

2025年3月31日をもって退任・退局いたしました本行紅美子です。JYPS事務局員としては3年、また事務局長としては2年、長らくお世話になりました。

私が入局したころのJYPS事務局は、コロナ禍の影響から活動の大半が国内事業かつほぼ全てがオンラインでのものでした。そんな状況から、JYPS事務局はもともとの強みである国際事業への取り組みを回復し、2024年度には、未来サミットや北東アジアマルチステークホルダーカンファレンス（NEA）、COP29などの国際会議への出席、海外ユースへのアプローチを行うようになりました。もちろんこの間、外務省をはじめ関係省庁との関係構築にも勤しんでまいりました。



近年、日本のユースに求められる役割は拡大しており、JYPS事務局も国内外に活動の裾野を広げています。引き続きご支援・ご協力いただければ幸いです。今までありがとうございました。

## 山口凜（2025年度 新事務局長）



2025年4月より、JYPS事務局長に就任いたしました、山口凜です。2023年にJYPS事務局に参画して以来、総務部・普及啓発部で経験を積んだ後、統括として活動を続けてまいりました。これまで多くの人の縁に恵まれ、皆様の熱意や真摯な姿勢に刺激を受けつつ、私たちにできることは何か、日本でユース参画を実現させる方法を常に模索し続けてきました。

JYPSは今年で創立10年を迎えます。これまで活動を継続できたのは、事務局員一人ひとりが課題を自分ごととして捉え、その想いをつなぐプラットフォームとしてJYPSが機能してきたからこそだと考えています。昨年開催された未来サミットで採択された「未来のための協定（Pact for the Future）」において、若者および将来世代に対する具体的な行動指針が示されました。私がJYPSでの活動を始めた当初に比べ、ユースの声がさらに重要視されるようになったと実感しております。

2025年度は原点に立ち返り、私たちの想いをかたちとして実現できるよう、組織体制の見直しを含めた活動やユースの声を届けるアドボカシー活動をさらに推進いたします。

至らぬ点もあるかと存じますが、事務局長として全力を尽くしてまいります。今後とも、ご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願ひいたします。

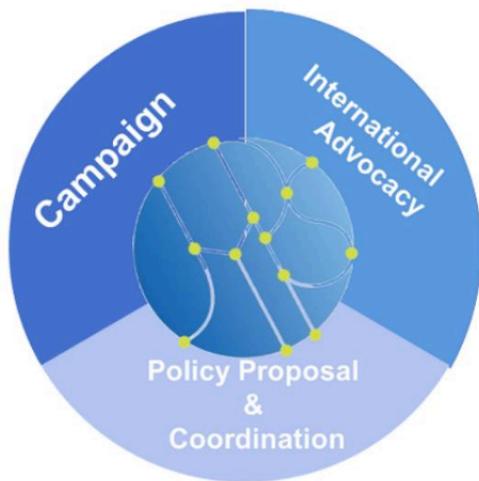
## JYPSについて

持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS：ジップス）は、社会のすべての若者が、公平に自らの意見を政策に反映させることを通じて、衡平で公正な社会が実現される世界を目指します。若者の意見を集約・調整する自治民主的な仕組みの設立、管理、そして改善を通して、若者が政府や国際的な枠組みに対しその意見を反映させることを可能にします。

## 活動内容

JYPSは日本の若者によるアドボカシーのためのプラットフォームです。アドボカシー活動は大きく分けて次の3つです：

1. 国際会議、国連会議、その他国際な枠組みを制定する会議とそれらの準備会合への参画
2. 政策文書作成、意見収集・調整を含む若者団体や若者個人の意見を政策提言にする活動
3. 政策提言を広く訴え、大きな支援を集め、人々を巻き込むためのキャンペーン活動



アドボカシーとして、政策提言、国連交渉参加、関係省庁との会議、キャンペーン、イベント、記事掲載などを行い、さまざまなバックグラウンドをもつ若者の声を実現することを通じて、社会を変革することを目指しています。30歳以下の若者または、若者団体、もしくは若者のために活動する団体であれば、だれでも参加することができます。

## 2024年度事務局員

所属	役職	氏名
共同事務局長		森井悠里香
		本行紅美子
政策提言部	統括	川田采奈
	副統括	遠山未来
		武田輝幸
		小野日向汰
		今永拓輝
		酒井美和
		山田真愛
		開原弓喜
		川和ニコラ
		嶋田恭子
		成田そら
普及啓発部	統括	山口凜
		野田莉々子
		村越りり
		吹田瑞希
		市村櫻都
		楠ななは
総務部	統括	山口凜
		橋本輝

2025年3月31日迄  
※山口は普及啓発部及び総務部を兼任

## 2024年の主要活動

月	「新時代のパイオニア」プロジェクト	CECG「経済課題アドボカシー」プロジェクト
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ECOSOC Youth Forumに事務局員を派遣</li> <li>こども家庭庁主導プロジェクトのイベントへ運営団体として参加</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内省庁や国際機関、その他関係団体との関係構築・意見交換</li> <li>参画しているプロジェクト委員会への出席</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新時代のパイオニア」プロジェクト関連イベントの開催</li> <li>海外ユース団体との関係構築</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>上川元外務大臣の「ユースとの対話：未来サミットに向けて」に参加</li> <li>新人研修</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>TICAD9 閣僚級会合に参加</li> <li>アドボカシートレーニングとして他団体や講師を招いた勉強会を開催</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Summit of the Futureへ事務局員を派遣</li> <li>SDGs Youth Summit 2024の開催</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>NEAマルチステークホルダーフォーラムへ事務局員を派遣</li> <li>持続可能な開発目標（SDGs）推進円卓会議に出席</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>COP29へ事務局員を派遣</li> <li>他ユース団体との交流イベント「あつまれJYPSの森」の開催</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外派遣成果報告会の開催</li> <li>UNDP主催イベントをはじめとした各種イベントへの登壇</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度への準備</li> <li>自発的国家レビュー実施に向けた意見交換の開催</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>12th APFSDへ事務局員を派遣</li> <li>(一社) SDGs市民社会ネットワーク周年イベントへ登壇</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期体制への引き継ぎ</li> <li>自発的国家レビュー実施に向けたステークホルダー会議に参加</li> </ul>	

## JYPS事務局主催（共催）イベント

- 2024/06/09 話し合おう！私たちの未来！（東京・岡山）
- 2024/06/15 話し合おう！私たちの未来！（オンライン）
- 2024/08/09 國際金融・財務プロジェクトユースグループ向けワークショップ
- 2024/09/01 SDGs Youth Summit 2024
- 2024/09/06 SYC-NEA SDGs Online Open Discussion 2024
- 2024/11/01,03 COP29に向けたユース連携セミナー（東京・オンライン）
- 2024/11/02 あつまれJYPSの森
- 2024/11/08 未来サミットポストイベント（共催）
- 2024/11/30 アフリカのリアルを聞く・知る・考える対話型ワークショップ（共催）
- 2024/12/13,21 國際金融・財務プロジェクトオンラインレクチャー
- 2024/12/15 JYPS海外派遣成果報告会
- 2025/02/02 國際金融・財務プロジェクトディスカッションイベント
- 2025/02/18 Youth TICAD 2025 Pre-event

## 「新時代のパイオニア」プロジェクト



日本社会から持続可能な社会の実現に向けた議論を喚起するため、「新時代のパイオニア」プロセスを始動させました。2023年に、2030アジェンダ - SDGs（持続可能な開発目標）は折り返し点を迎え、SDGsプロセスの加速と協力体制の強化を目指し、JYPS事務局では2024年から2030年までの残りの6年を「行動と変革の6年」としました。

そして、2025年に日本がVoluntary National Review（VNR）という自国のSDGsの達成状況の評価を実施するのに合わせ、日本のユース独自のユースインディケーターを用いたVoluntary Youth Review（VYR）を通して、ユースの視点からSDGsの進捗評価を行いました。

### 【新時代のパイオニアプロジェクト活動一覧】

1. 実行委員の募集
  - a. 2024年2月、JYPS事務局員と協働しながら、活動を行う「実行委員」を募集。
2. キックオフイベントの開催
  - a. 開催日：2024年3月20日
  - b. 協力：次世代のSDGs推進プラットフォーム
3. Google Formsを通したオンライン調査の実施
  - a. 実施日程：2024年4月27日～2024年6月16日
4. ディスカッションイベントの開催
  - a. 2024年6月8日 東京開場
  - b. 2024年6月9日 岡山会場
  - c. 2024年6月15日 Zoom
5. インタビューを通したヒアリングの実施
6. 専門家による調査報告書のフィードバック
7. 「新時代のパイオニア」プロジェクト調査報告書の完成
8. プロジェクト報告会の開催
  - a. 開催日：2024年9月1日
  - b. 登壇者
    - i. 国連広報センター 根本かおる氏
    - ii. 公益社団法人日本青年会議所 角俊太郎氏
    - iii. G7G20YouthJapan 近藤英里奈氏
    - iv. 一般社団法人かたわら代表理事 高橋悠太氏

成果物：[「新時代のパイオニア」プロジェクト調査報告書-ユース視点での日本のSDGs達成状況分析](#)  
特設ホームページはこちら：<https://www.jyps.website/pioneersofthenewera>

## CECG 「経済課題アドボカシー」プロジェクト

本プロジェクトは「国際金融・財務分野へのユース（本プロジェクトでは30歳以下と定義）の意味ある参画を促進すること」を目的に、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター（JANIC）の業務委託を受け、持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS）が主導して実施しました。

国際金融・財務に関する課題は、いかなる地球規模課題を考える際にも不可欠な視点である一方で、「自分ごと」として捉えにくく、他の諸課題との関連性が想像しづらいという側面を持っています。また、重要なステークホルダーである投資家・金融機関とユースとの間の関係性が希薄であるという指摘もなされており、本プロジェクトはユースの国際金融・財務分野における理解度や関心の現状を明らかにするとともに、レクチャーおよびディスカッションの機会を提供し、同分野への意味あるユース参画を促進することを目的として始動しました。

### 【CECG 「経済課題アドボカシー」プロジェクト活動一覧】

1. プロジェクト始動に向けた事前勉強会
  - a. 開催日：2024年8月9日
  - b. 講師：田中徹二氏（グローバル連帯税フォーラム代表理事）
2. 運営委員会の構成と活動内容
  - a. 構成：JYPS事務局員6名、外部組織所属の7名からなる高校生～社会人までの日本ユース
  - b. 活動期間：2024年9月29日～2025年3月31日
  - c. 活動内容：勉強会の開催、公開イベントの企画・運営、提言書の作成、関連情報の共有
3. 公開イベント
  - a. 第1回レクチャーアイベント
    - i. 講師：大森功一氏（世界銀行 東京事務所 上級対外関係担当官）
  - b. 第2回レクチャーアイベント
    - i. 講師：小笠原由佳氏（藤村総合研究所取締役）・岩橋立朗氏（独立行政法人国際協力機構 民間連携部）
  - c. ディスカッションイベント
    - i. 開催形態：ハイブリッド
4. 政策提言と意見交換
  - a. 2024年度「第3回ODA政策協議会」
    - i. 実施日：2025年3月18日
    - ii. 参加者：外務省と日本市民社会およびプロジェクト運営委員
  - b. レクチャーアイベント講師との意見交換①
    - i. 実施日：2025年3月26日
    - ii. 参加者：大森功一氏（世界銀行 東京事務所 上級対外関係担当官）およびプロジェクト運営委員
  - c. レクチャーアイベント講師との意見交換②
    - i. 実施日：2025年3月27日
    - ii. 参加者：小笠原由佳氏（藤村総合研究所取締役）およびプロジェクト運営委員
  - d. レクチャーアイベント講師との意見交換③
    - i. 実施日：2025年3月31日
    - ii. 参加者：岩橋立朗氏（国際協力機構 民間連携部）およびプロジェクト運営委員

成果物：

[https://www.janic.org/thinklobby/wp-content/uploads/sites/6/2025/07/250331-Youth\\_Policy\\_Recommendations.pdf](https://www.janic.org/thinklobby/wp-content/uploads/sites/6/2025/07/250331-Youth_Policy_Recommendations.pdf)

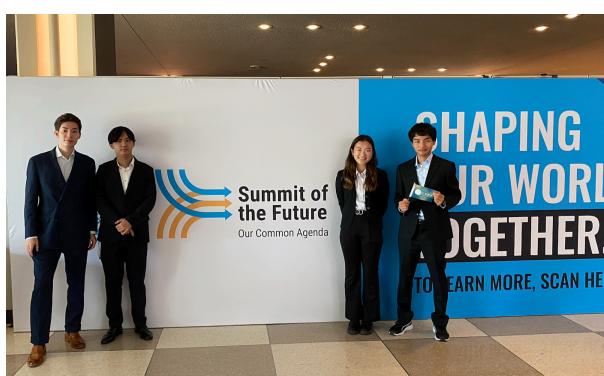
プロジェクト詳細・活動報告書はこちら：<https://www.janic.org/thinklobby/popular/6136>

## 国際会議への参加

2024年度は下記の6つの国際会議に事務局員を派遣しました。

### ECOSOC Youth Forum

2024年4月16日～4月18日にニューヨーク（米国）で開催された、「ECOSOC Youth Forum」に次世代のSDGs推進プラットフォームとJYPS事務局を代表して、事務局員1名が日本のYouth Delegateとして参加。



### North-East Asia Multistakeholder Forum on Sustainable Development Goals

10月23日～25日に仁川（韓国）で開催された「第8回持続可能な開発目標に関する北東アジアマルチステークホルダーフォーラム (NEA: 8th North-East Asia Multistakeholder Forum on Sustainable Development Goals 2024)」にJYPS事務局員2名参加。



### 12th APFSD

2025年2月25日～2月28日にバンコク（タイ）で開催された「第12回持続可能な開発に関するアジア太平洋フォーラム (APFSD)」にSDGs市民社会ネットワークユースユニット幹事とJYPS事務局を代表して、1名参加。



### FAIR Convening 2025

2025年3月にヨハネスブルグ（南アフリカ）で開催された「国際財政構造アドボカシーに関するNGO戦略会議 (Financial Architecture International Reform Convening 2025)」にJYPS事務局員1名が参加。

## 参加ネットワーكرー覧と担当者

本行紅美子	SDGs推進円卓会議 民間構成員
	次世代のSDGs推進プラットフォーム 担当
	ジャパンSDGsアクション推進協議会 構成員
	SDGs市民社会ネットワーク統括会議 ユースユニット担当
森井悠里香	SDGs市民社会ネットワーク 理事
	SDG Youth Committee North-East Asia 構成員
	国連メジャーグループ Children & Youth 構成員
山口凜	SDGs市民社会ネットワーク統括会議 ユースユニット担当
	UNFCCC YOUNGO構成員
川田采奈	環境パートナーシップオフィス等運営業務 運営委員会
	SDG Youth Committee North-East Asia 構成員
遠山未来	J-GBF（2030生物多様性枠組実現日本会議）企画委員・幹事団体担当
	SDGs市民社会ネットワーク 開発ユニット会議 担当
川和ニコラ	こども家庭庁 こどもまんなか社会実現プラットフォーム設立準備会合 委員
	SDGs市民社会ネットワーク 開発ユニット会議 担当
武田輝幸	国連メジャーグループ Children & Youth 構成員
野田莉々子	国連メジャーグループ Children & Youth 構成員
	SDG Youth Committee North-East Asia 構成員

## 収支報告

(単位: 円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取寄付金 受取寄付金		402,027	
2. 受取助成金 地球環境基金助成金 電通育英会助成金	1,808,000 560,522	2,368,522	
3. 事業収益 諸謝金 業務委託報酬	488,516 1,214,080	1,702,596	
4. その他収益 受取利息 雑収益	273 10,000	10,273	
経常収益計			4,483,418
II 経常費用			
1. 事業費 (1) 人件費 活動手当	298,424		
(2) その他経費 諸謝金 印刷製本費 旅費交通費 消耗品費 賃借料 保険料 広告費 支払手数料 雑費	80,000 86,204 2,217,315 52,048 373,273 2,430 103,947 3,620 0		
事業費計		3,217,261	
2. 管理費 (1) 人件費 人件費	0		
(2) その他経費 印刷製本費 会議費 HP維持管理費 通信運搬費 支払手数料 雑費	23,594 23,454 24,200 370 6,780 0		
管理費計		78,398	
経常費用計			3,295,659
当期正味財産増減額		1,187,759	
前期繰越正味財産額		1,709,213	
次期繰越正味財産額		2,896,972	



DENTSU  
Scholarship  
Foundation



JYPSの活動は、  
独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金、  
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行いました。

持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム（Japan Youth Platform for Sustainability : JYPS）は、「社会のすべて人々が、公平に自らの意見を政策に反映させることを通じて、衡平で公正な社会が実現される世界」というビジョンのもと、「若者の意見を集約・調整する自治民主的な仕組みの設立、管理、そして改善をすることを通じて、若者が政府や国際的な枠組みに対しその意見を反映させること」をミッションに活動しています。

- 【お問い合わせ】：[japanyouthplatform@gmail.com](mailto:japanyouthplatform@gmail.com)
- 【HP】<https://japanyouthplatform.wixsite.com/website>
- 【Facebook】<https://www.facebook.com/JYPS2030/>
- 【X（旧Twitter）】<https://twitter.com/JYPS2030>
- 【Instagram】<https://www.instagram.com/jyps2030/>

文責：山口凜（事務局長）